

特別展記録



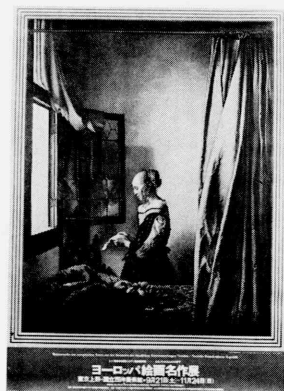
*セザンヌ展
EXPOSITION CÉZANNE

1974年 3月30日～5月25日

主催：国立西洋美術館・読売新聞社

出品内容＝油彩61点、水彩27点、デッサン40点、
版画10点、計138点

セザンヌ芸術を総観する大規模な展覧会は、欧米でも今日その実現が極めて困難とされている。我が国でもこれまで、印象派ないし後期印象派の代表作家の展覧会は、大なり小なりほとんど出尽した感があるが、セザンヌだけは、その歴史的地位の大きさにもかかわらず、実現されなかった。本展はJ.リウォルド、A.シャビュイ他欧米のセザンヌ研究家たちによる組織委員会を中心に、各関係者の周到な準備のもとに、幾多の困難を克服して実現されたもので、出品に協力した国は日本も含めて11カ国に及び、セザンヌの各時代、各ジャンルにわたるバランスのとれた、高度の出品内容は各方面に多大の好評を博した。



*ヨーロッパ絵画名作展
MEISTERWERKE DER EUROPÄISCHEN
MALEREI AUS DER GEMÄLDEGALERIE
ALTE MEISTER DRESDEN

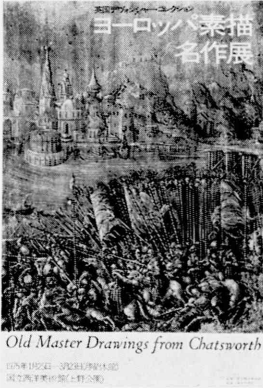
1974年 9月21日～11月24日

主催：ドレスデン国立美術館・国立西洋美術館・
日本経済新聞社

出品内容＝イタリア派32点、フランドル派12点、
オランダ派24点(内素描1点)、ドイツ派6点、フ
ランス派5点、スペイン派3点、計82点

かつてのザクセン王国の首都ドレスデンは、その景観の美しさに加え、数々のすぐれた美術館を擁しているが、中でもアルテ・マイスター絵画館はそのすぐれた規模、内容であまねく知られている。このコレクションの歴史は遠く16世紀半ばころにさかのぼるが、特に18世紀のアウグスト強力侯、その息子のアウグスト三世の代に飛躍的な充実を見た。本展の出品内容は、このコレクションの性格を反映して、ルネッサンス・バロックのイタリア派と、17世紀のオランダ、フランドル派が中心を占めるが、特にいたみ易い板絵の名作が26点も出品されたことは特筆に値する。

巡回展記録



＊ヨーロッパ素描名作展

OLD MASTER DRAWINGS FROM
CHATSWORTH, A Loan Exhibition from
the Devonshire Collection

1975年1月25日～3月23日

主催：国立西洋美術館

出品内容＝イタリア派65点、オランダ・フランドル派22点、ドイツ派8点、フランス派5点、計100点

我が国の海外からの特別展は油彩画中心で、ヨーロッパの素描芸術の真髄にふれる本格的な展覧会は極めて少なかった。本展はチャッツワースのデヴォンシャー公家所蔵のヨーロッパでも有数の素描コレクションから、イタリア、フランドル、オランダを中心に初期ルネッサンスから18世紀に至る名品を選択、出品したもので、特にこれら古い時代のものは、主として保存上の理由から通常は門外不出とされているだけに、本展の価値と意義は一層大きいといえる。



＊松方コレクション展

出品内容＝絵画60点、彫刻20点

1974年10月13日～11月10日

主催：国立西洋美術館・福岡県・福岡県教育委員会・福岡県文化会館

会場＝福岡県文化会館

1974年11月16日～12月1日

主催：国立西洋美術館・佐賀県・佐賀県教育委員会・佐賀県立博物館・佐賀新聞社

会場＝佐賀県立博物館

秋の特別展開催期間に合わせて本年度も本館所蔵作品による地方巡回展「松方コレクション展」を開催した。本年度は上記の二会場において、同一の作品内容による展示を行い、いずれの会場においても非常な盛況であった。なお本展には松方コレクション以外の作品が絵画・彫刻とも各5点ずつ出品された。

講演会記録

*モナ・リザ展

EXPOSITION LA JOCONDE

1974年4月20日～6月10日

主催：文化庁・東京国立博物館・国立西洋美術館

会場＝東京国立博物館

ルーヴル美術館所蔵のレオナルド・ダ・ヴィンチの名作《モナ・リザ》が11年ぶりに海外に貸出され、東京国立博物館で一般に公開された。本展には他に伝ヴァン・クレーヴ作《フランソワ一世の肖像》、および《モナ・リザ》の科学資料写真とフランソワ一世コレクションの複製写真などが展示された。本館は共催者としてカタログの編集を担当するとともに、会場構成・展示作業に協力した。

*「セザンヌ展」特別講演会

4月6日(1974年)

セザンヌの生涯と芸術における伝統と革新
〈アポロ〉誌編集長 デニス・サットン
(通訳 道下匡子)

4月13日

セザンヌと裸婦
東京大学助教授 高階秀爾

4月20日

セザンヌの芸術
東京芸術大学名誉教授 伊藤 廉

4月27日

セザンヌとゾラ
神戸大学助教授 池上忠治

*「ヨーロッパ絵画名作展」特別講演会

9月28日

ドレスデン美術館の名画
ドレスデン国立美術館アルテ・マイスター
絵画館長 アンナリーゼ・マイアー＝マイ
ンチェル(通訳 越 宏一)

10月5日

ヴェネツィアのルネッサンス絵画
東京芸術大学教授 摩寿意善郎

10月12日

フランドルとオランダの絵画
東京大学教授 前川誠郎

10月12日

ロココの絵画——ワトーを中心にして——
国立西洋美術館長 山田智三郎

修復記録

＊「ヨーロッパ素描名作展」特別講演会

2月1日（1975年）

デッサン——その本質と技法

東京芸術大学教授 平山郁夫

2月8日

デッサンの歴史

東京大学教授 前川誠郎

テレビ放送

文化庁提供「美を求めて」

放映 TBS 系 毎日曜日 8時15分～8時30分

＊「セザンヌ」

5月12日（1974年）

＊「ドレスデン美術館の名品」

11月17日

P・1959-152

クロード・モネ《陽を浴びるポプラ並木》

1891年 油彩 カンヴァス 92.5×73.5 cm

この作品は絵具層・地塗層のカンヴァスへの固着が弱く、常に絵具層・地塗層の亀裂と剝離の危険にさらされていた。これまでに何度か数箇所にわたって絵具の剝離が発見され、その都度固定処置を施してきたが、今回全面裏打による修復を行った。

修復処置：蜜蝋＋ダンマール樹脂等の混合接着剤を用いて新しいカンヴァスによる全面裏打。テレピン精油、アルコール、ミネラル・スピリット及び一部に弱アンモニア水を使用して画面を洗浄。白亜＋チタン白＋ポリビニール・アルコールによる充填材によって絵具・地塗の欠損部分を充填。グワッシュ絵具及び油絵具（テレピン精油で稀釈、ベルギー方式による）若干を用いて充填箇所補彩。スプレータイプ・タブロー・ニスによる保護膜塗装。

（修復：黒江光彦氏）